

清恵会医療専門学院 第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を学生ガイダンス、ホームページ、学生募集要項に記載し、入学時だけではなく、実習ガイダンス等学生に周知するよう努めている。	教育理念、目的、育人材像は、養成所指定規則、ガイドラインに基づいて定められている。2022年の新カリキュラムでは、将来を見据え、社会のニーズに対応できる看護専門職の育成を強化する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を育成し100%の就職率を維持しているが、社会の変化に対応した専門職としての資質は十分ではない。	専門の知識・技術・態度を育成し、高い合格率、就職率は維持しているが、地域包括ケアシステムや少子高齢社会に対応できる育人材像を見直す必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念に掲げてある「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」を基盤に、専門職としての技術・知識・態度を修得できるよう、講義・実習の充実に取り組んでいる。	講義ではアクティブラーニングを導入し、実習ではリフレクシオンを重視し、発信力や思考力を高め、自ら学び続ける看護専門職の育成に努力している。今後は多職種連携教育など学校の特色を踏まえた教育活動の工夫が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムを見据えた教育内容の構成に取り組んでいるが、今後の大学化や4年制への将来構想は明確化されていない。	母体病院と連携し、少子高齢社会、地域包括ケアシステムを見据えた人材育成のあり方を検討中である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められている。月1回の運営会議を開催し、各学科に状況報告や理事会の報告、方針は共有している。	運営会議で運営方針が定められ、運営目標、事業目標の達成度について毎回報告を挙げている。運営会議での決定議案は、随時、教員全体へ伝達するようにしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められており、各学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へつなげている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められる。運営会議、科長会、教務会で、教員全員の周知を図り、それぞれの業績目標に結びつくよう、学科長が面接を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各学科教務部長、教務科長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	国家試験対策、業務改善、実習開発、広報などの委員会活動を実施し、年度末に委員会報告を行っている。教育の質向上に向けた伝達講習会を実施しているが、教員のラダー教育の整備は必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	学院長、教務部長、教務科長、教務主任、専任教員で構成し、各学年は担任、副担任で構成されている。教育理念・教育目標を達成できるよう、各領域ごとに指導体制が整うように教員の配置を行っているが、専門性は充実できていない。	規程の人員配置はされているが、新人教員が定着しない。学生の学力向上、社会人基礎力の強化に向けた人員の確保や教員の専門性を高める教育体制を整える必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針を編成している。学生には入学時、各年次において説明し周知を行っている。	教育理念に基づき、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、看護の統合と実践へと段階的に科目構成され、実施方針を定めているが、シラバスや指導要項は今後見直しが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則内規により、科目履修規定、評価点の基準を設定している。	修業年限に応じた教育到達レベルは明確にしている。教育到達レベルの評価においては、教員・学生が共有しやすい評価基準を見直しているところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、入学学生の状況にあわせた教育内容に取り組んでいる。月1回の学科会議を開催し、内容の検討を行っている。また、教科外活動の時間は学生の態度面や感性の育成を重視した内容としている。	教育目的、内容に沿って教育課程の編成が実施されている。今後はカリキュラム評価を行い、これからの社会に対応できる看護専門職の育成、本校の特色を表現した教育課程の編成に取り組む必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに内部・外部講師の共有を図っている。実習では設置母体との合同調整会議をもち意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、シラバスをもとに教育内容について積極的に交換し、効果的な教育に向けて努力している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。また、学年間の交流をもち学習の意識づけや専門職としての自覚を育成している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けて教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか明確にしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に規定された専任教員の配置数は確保できているが、すべての教員が看護師養成講習会の受講は終了していない。	看護教員養成講習期受講教員においては、随時講習を受講できるようにしている。規定数以上の資格・要件を備えた教員確保は困難な状況であり、配置人数の増員とより良い人材の確保が重要課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門性を高めるために1回/年の研修への参加を推奨している。また、教務会を開催し、資質向上への取り組みを行っている。研究授業への取組や実践報告を行ったが、業務過多のため、建設的な取り組みが難しい現状である。	業務改善による重複業務を整理し、教育力向上への時間の確保が必要である。また、教員経験年数と能力に応じた取り組みが課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価は行っているが、外部講師の授業評価の実施には至っていない。実習においては、中間評価により後半への課題の明確化を行い最終評価に繋げている。	外部講師の授業評価を導入する。また、自己点検・自己評価により、本校の教育内容の現状の把握と課題の明確化が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則に基づき、規定の出席率を満たした者が学科試験・実習評価を受け、一定の評価以上で単位認定を行っている。実習においては、学科会議にかけ、評価の判定を行っている。	単位認定が困難な学生に対しては、事前に保護者に連絡し面談を行っている。成績に関しては、学生管理となっているため、単位取得状況も含めた成績状況を保護者にも知ってもらう必要がある。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次には協同学習・ボランティア発表を行い、各学年とも実習終了後の報告会では教員も参加し、学びの共有・成果の把握をしている。	現行を継続していくが、発表内容・方法は報告会ごとに検討していく。該当学科教員が参加しているが、他学科教員の参加により客観的な評価を得る機会も必要である。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の習得が目標であることは、入学時ガイダンスから始まり各実習ガイダンスで意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	1年次の講義で習得した知識が発展的かつ継続的に積み重ねられておらず、断片的な学習になっている点が課題である。1年次からの主体性を引き出すかわわりを検討したい。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的な位置づけになっている。国家試験担当が年間計画を立て明確化し支援している。学習面において受け身の学生が増えている。	受け身の学生が多くなっているため、基礎的知識の定着のためには教員主体の学習支援から始め、自学自習に移行できるような計画を検討する。既卒生に対する学習支援にも取り組んでいく。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%で設置主体法人への就職率は93%であった。	法人主催の就職説明会の実施時期が夏季休暇以降のため、就職活動開始時期の検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	定期的な模擬試験や補講を行い、1年次より国家試験合格に向けて取り組んだ結果、2018年度の看護師国家試験合格率は90%であった。	2018年は国家試験合格率が低く、要因として1年次から成績不良者が多く、自主的な学習姿勢が養われていなかった。成績不良学生に対する学習強化が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	クラス担任・副担任が窓口になり学科の教員で支援を行っている。メンタルサポートの必要な学生においては、必要時、法人保健師の紹介を行い、サポート協力を得ている。	専門のカウンセラーの設置はしていないため、今後学生のメンタル状況に応じて、検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績不振学生に対し保護者との面談を行い、学生の状況を把握していただき協力を得ている。必要時電話で状況を伝え、留年決定までに連携を図っており、保護者からの抗議や苦情はない。	個別の対応は実施しているが、全体としての体制はとっていないため、戴帽式等保護者が参加する行事の時に保護者会を開催し現状を伝え連携体制を強化していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。今後は保護者への成績開示の実現に取り組んでいただきたい。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上必要な最低限の教育用具は整備されており、随時購入している。校舎は、40年以上経過しており老朽化がみられる。	使用頻度の低い教育用具の管理が不十分であり、どのような教育用具があるのか教員の認識不足が課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄、安否確認システムの構築が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	看護協会を通じて、高等学校の教育事情や就職・進学状況などの情報を入手し、他校と情報提供も行っている。今後は18歳人口の減少に伴い受験者確保に向けて、近隣を中心に高等学校関係者との更なる連携を図る必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。	学生募集活動は、事務職員と教員が連携し、教育活動に影響しない範囲で積極的に取り組んでいる。今後はHPも効果的に活用し、学校アピール度を高めていきたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は大きく減少したが定員は確保できている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生個人の情報を取り扱うときは、目的を明確にし、必要な範囲内で情報を保ち視診の注意を払っている。患者の個人情報においては、学生ガイダンス、実習ガイダンス等でオリエンテーションを行っている。実習において、誓約書を記載し、周知徹底に努めている。	患者の個人情報に関する記録の管理、守秘義務、SNSの取り扱いについては、実習ガイダンス、学生便覧に掲載。オリエンテーションや機会教育を実施。教員は学生の個人情報に関する情報の管理については取り決めを行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教育評価(授業評価・実習評価)は実施し、実習においては問題点の改善を行っている。教育活動においては、具体的な問題点の抽出はできておらず、学校経営への意識は低い。	自校の教育活動その他の運営状態の自己点検・自己評価を行い、学校経営の現状の見直しが必要である。教員全員が学校経営への参加意識を持つことが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。